

イーストスプリング・インド株式オープン

8月25日における基準価額の変動について

受益者向け資料
2015年8月25日

2015年8月25日、当社が運用する「イーストスプリング・インド株式オープン」の基準価額が前営業日比で5%を超える下落となりました。変動の主な要因等についてお伝えします。

ファンド名	8月25日 基準価額	8月24日 基準価額	前営業日比	前営業日比 騰落率
イーストスプリング・インド株式オープン	13,427円	14,806円	-1,379円	-9.31%

※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。

(ご参考) 株価指数	8月24日	8月21日	前営業日比	前営業日比 騰落率
CNX Nifty指数(現地通貨ベース)	7,809.00	8,299.95	-490.95	-5.92%
(ご参考) 為替レート	8月25日	8月24日	前営業日比	前営業日比 騰落率
インドルピー(対円)	1.79円	1.86円	-0.07円	-3.76%

出所: CNX Nifty指数*はBloomberg L.P.のデータ、為替レートは一般社団法人投資信託協会が発表する為替レートに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

基準価額下落の背景: 中国の景気減速をきっかけとした世界同時株安

8月24日、中国の景気減速による世界景気への影響に対する懸念から、インドの代表的な株価指数であるCNX Nifty指数は5.92%の大幅な下落となりました。こうしたリスク回避的な動きが、アジアをはじめ先進国および新興国の金融市場全体に広がりました。

市場では、8月11日に中国が実質的な通貨切り下げを実施したことから、予想以上に中国の景気が減速しているとの見方が広がっていました。さらに、21日に発表された8月の中国製造業購買担当者指数(PMI)速報値は47.1と6年半ぶりの低水準となり、中国の生産活動の低迷を示していました。

一方、米連邦準備制度理事会(FRB)が19日に公表した連邦公開市場委員会(FOMC、7月28-29日開催)の議事録で、参加者の大半は利上げに必要な条件がまだ満たされていないと考えていることが示唆され、米国の早期利上げ観測が後退したことから、為替市場では円高が進行しました。

投資家のリスク回避姿勢が強まり、原油価格や商品価格、新興国市場の通貨が下落する中、世界同時株安の動きとなりました。こうした状況を背景に、保有銘柄の株価下落、円高の進行等により、当ファンドの騰落率は前営業日比-9.31%となりました。

今後の見通し: 短期的には変動率が高まる可能性 アジア地域の経済は引き続き安定

世界的なリスク回避の動きから市場の変動率が高くなる可能性があります。今回の下落局面のきっかけとなった、中国の景気および株式市場の動向については引き続き注視が必要と考えます。

一方、インド経済のマクロ・ファンダメンタルズに変わりはなく、若年労働者層の多い人口構成、低金利政策の継続、設備投資の増加などの要因が経済を支える構図が継続しています。さらに米国の景気については、住宅着工件数や非農業部門の雇用者数の増加など堅調な回復も見られます。

今回の市場の混乱にもかかわらず、アジアの経済は引き続き安定していると見ています。アジア株式市場のバリュエーションは過去と比較して相対的に魅力的な水準にあり、先進国の市場と比較して割安となっています。しかしながら短期的には市場の注目がマクロ経済の動向に集まっていることから、特に弱気な経済指標など外部要因に対する市場の過剰反応により、個別ファンダメンタルズに関係なく株式が売込まれる局面も想定されます。

運用担当者としては、このように株価が企業本来の収益力から想定される適正水準から乖離し、銘柄間のバリュエーション格差が拡大する市場の調整局面は、ファンダメンタルズが強固な企業の株式を割安な水準で組入れる好機と考えています。

*CNX Nifty指数はインドのナショナル証券取引所に上場する50銘柄で構成されたインドを代表する株価指数です。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会